



# パッケージ番号14 田沢湖を中心とした観光ネットワークの形成

## ●現状と課題

仙北市は角館武家屋敷、県立自然公園抱返溪谷、カタクリの郷そして田沢湖や田沢湖高原温泉郷といった有名観光地が東西南北に点在していますが、年々増加する観光客に対し観光地間を結ぶ道路網の未整備となっている区間が存在しています。

## ●対応

観光地間や集落を結ぶ道路の整備及び、ネットワークの整備が必要です。

## ●整備目的

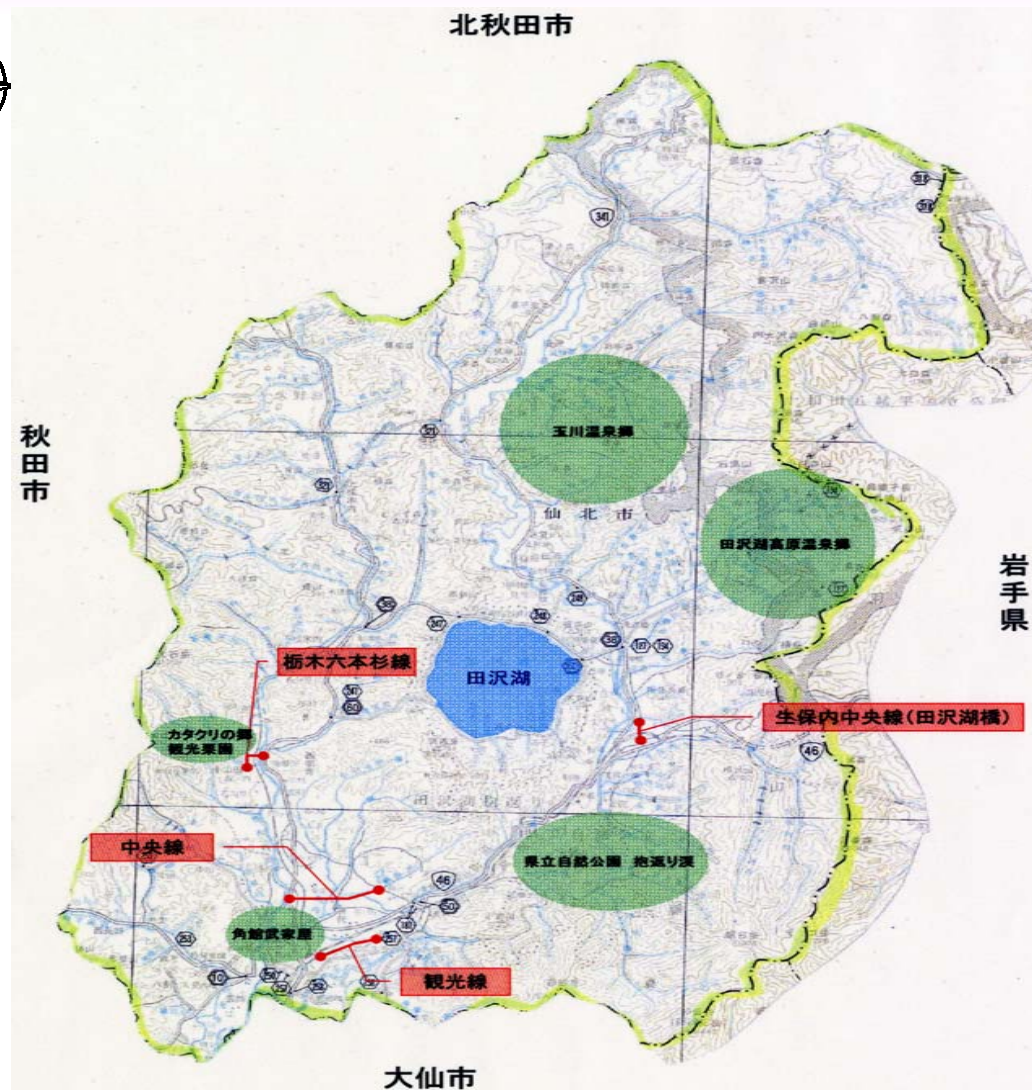
主要観光地間の渋滞解消やアクセス向上により時間的損失を解消し、観光と地域振興の活性化を図ります。

- ・現道の拡幅・・・隘路区間や渋滞の解消
- ・安全性の確保・・・橋梁耐震補強や舗装の修繕

## ●対象事業の期間

平成20年度～平成27年度  
(8年間)

## ●対象エリア

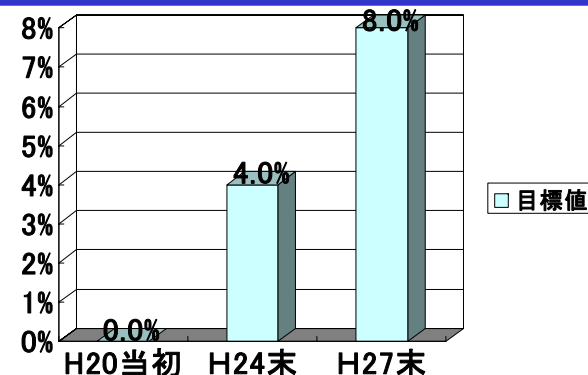




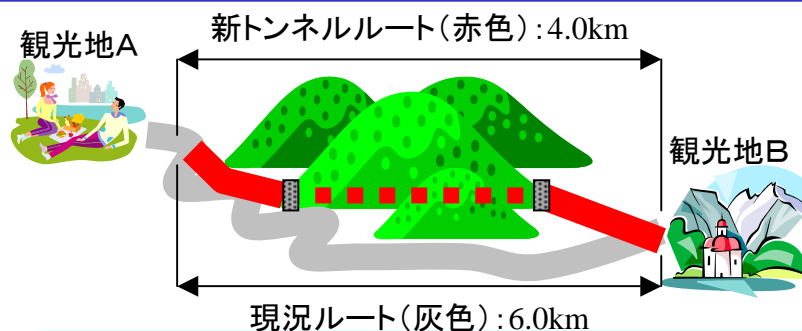
## 成果目標：観光地間の連絡時間の減少

アウトカム指標の算定式 →  $100 - (\sum \text{整備後走行時間} \div \sum \text{現況走行時間}) \times 100\%$

アウトカム指標	当初現況値 (H20当初)	中間目標値 (H24末)	長期目標 (H27末)
目標値	0.0%	4.0%	8.0%



### ●例



### ●現況ルートについて

- ・延長は6.0kmです。
- ・カーブが多く、速度が平均30km/hしか出せません。

### ●新トンネルルートについて

- ・延長が4.0kmです！
- ・直線が多く、速度が平均40km/h出せます！

### ●結果

	延長	速度	走行時間
現況ルート	6.0 km	30 km/h	12 分
新トンネルルート	4.0 km	40 km/h	6 分

アウトカム指標としては、

【計算式： $100 - (6 \div 12) \times 100$ 】

となり、この場合は元の道路に比べ、

**50%の時間短縮**となります。

※この例はわかりやすくするため、整備区間のみを算出対象とし、かつ極端な数値を用いております。